

草の響き (2021)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 116分

初公開日 2021/10/08

公開情報 コピアポア・フィルム＝函館シネマアイリス

映倫 PG12

【解説】

佐藤泰志の短編小説を「菊とギロチン」「寝ても覚めても」の東出昌大主演で映画化した人間ドラマ。心を病み、妻を連れて故郷の函館に戻った男が、運動療法としてひたすら走る続ける中で周囲の人と織りなす葛藤と再生の人間模様を繊細に綴る。共演は奈緒、大東駿介、室井滋。監督は「なにもこわいことはない」「空の瞳とカタツムリ」の斎藤久志。

東京で出版社に勤めていた和雄は、徐々に精神のバランスを崩し、妻の純子とともに故郷の函館に帰ってきた。やがて自律神経失調症と診断された彼は、運動療法として医師から指示されたランニングを始める。仕事を休み、毎日同じ場所を黙々と走り続ける和雄。一方、走る以外何もできない夫を純子は献身的に支えていくが、東京出身で函館に頼れる人のいない彼女は次第に不安を募らせていく。そんな中、ひよんなことから広場で遊ぶ3人組の若者たちと知り合う和雄だったが…。

【クレジット】

監督	斎藤久志	
プロデューサー	鈴木ゆたか	
原作	佐藤泰志	『草の響き』
脚本	加瀬仁美	
撮影	石井勲	
美術	原田恭明	
衣装	小里幸子 白石妙子	
編集	岡田久美	
音響効果	伊藤瑞樹	
音楽	佐藤洋介	
照明	大坂章夫	
録音	矢野正人	
ピアノ	村山☆潤	
装飾	森公美	
ヘアメイク	風間啓子	
制作担当	中島正志	
題字	佐藤泰志	
助監督	齊藤勇起	
出演	東出昌大 奈緒	

大東駿介

Kaya

林裕太

三根有葵

利重剛

クノ真季子 Kuno Makiko

室井滋